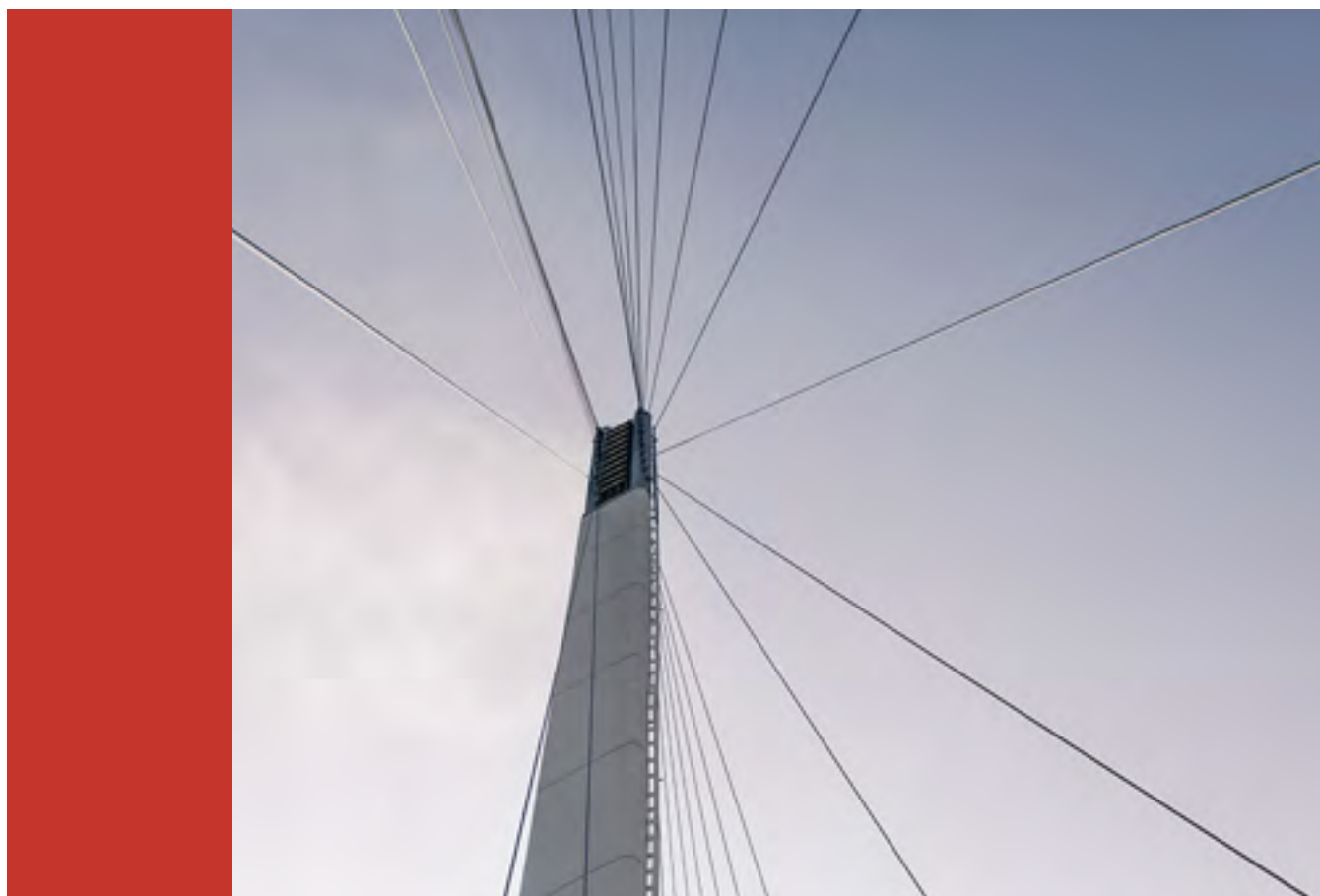


JAPAN YOUNG PSYCHIATRISTS ORGANISATION

CADP Official Booklet

Course for Academic Development of Psychiatrists

2017





Our Origin



An Introduction to the JYPO

認定NPO法人 JYPO前理事長 伊井俊貴

日本若手精神科医の会（Japan Young Psychiatrists Organization: JYPO）は2002年に世界精神医学会（World Psychiatric Association: WPA）と日本精神神経学会（Japanese Society of Psychiatry and Neurology: JSPN）の協力によって設立されました。設立後、JYPOはWPA、JSPNとは独立した組織とし認定NPO法人として認定を受け、メンタルヘルスの分野でリーダーシップを発揮できる人材を育てることを目的に活動しています。

今年度は、JYPO卒業生とのミーティングを開催しました。活発に活動している若手精神科医や各分野で活躍されているJYPO卒業生とのネットワークを活かし、日本および世界の精神医学を向上させるため少しでもお役に立てるため活動を継続しています。ご賛同いただける方、興味を持っていただいた方は是非、連絡をいただければと思います。よろしくごお願い申し上げます。



Our Step

What is the CADP?

認定NPO法人 JYPO理事長 堀之内徹

CADPはWPAの元会長であるSartorius先生が設立し、日本には2002年にJSPNの元会長である佐藤光源教授によって導入されました。

CADPの主な目的は、特にプロフェッショナルやリーダーシップの技術という観点から若手精神科医に教育することにあります。

CADPはJYPOによって運営され、JYPOの最大の行事でもあります。それぞれの参加者は発表者・座長・報告者などの役割を担当します。我々は2008年から海外参加者を招聘しはじめ、これまでに10カ国以上から50人以上の若手精神科医が参加しています。

我々は同じホテルで同じ食事をとめることで、良い関係を築き互いに刺激し合っています。第16回CADPは2017年2月に千葉で開催されました。Sartorius先生を始めとした精神科分野での多くのリーダーから興味深い講演を聞き、指導を受けました。

Small Group Work 2017

茅野龍馬

スモールグループワーク（SGW）では、様々なテーマを題材に、グループディスカッション、プレゼンテーション、フロアディス

カッション、講評などを盛り込んだアクティビティが、例年展開されています。

今年のテーマは「グローバルな高齢化と認知症」で、高齢化が先進国だけの課題ではなくグローバル課題になっていること、それに伴って認知症もグローバルな課題になりつつあり、その膨張する社会負担にどのように対処するかが喫緊の国際保健のテーマになっていることなどが導入で紹介された後、3つの異なる社会背景（人口、経済、政治など）をもつ国のケースモデルについて、約30名の参加者を6班に分けて（各モデルに2班ずつ）、それぞれのケースにおいてどのような対処が可能かが議論されました。

各班のアイデアを共有する最終日のプレゼンテーションでは、非専門家やボランティアの人材育成、技術革新（ロボットやAIの活用）、認知症にやさしい社会づくりや偏見是正のアドボカシーなど、大変建設的かつ現実的な提案がなされました。プレゼンテーション後のフロアディスカッションも活発に行われ、実りある議論と参加者への問題提起ができました。

今年のSGWはSartorius先生の指導のもと、実行委員である医療法人（財団）桜花会醍醐病院の福島弘之先生、小樽市立病院の澤頭亮先生、大阪大学医学部附属病院の山田健生先生にご尽力をいただき、準備・運営を行うことができました。ご協力いただいた先生方に心より御礼を申し上げます。

A Wonderful Reception Party

長徹二

3日間英語漬けの勉強合宿にもオアシスが必要でございます。英語がほとんど話せず、ほとんど聞き取れていなくても、勉強の時間が終われば、必ず楽しい宴会や飲み会が待っているのです。この宴会では昼間本性をあまり出せなかった人も、行動や表情でその人らしさを表現できるよう、なるべく話さなくてもいいように企画されています。また、3日間続けて参加できない人でも、「宴会だけ参加枠」という概念をも見出し、膨大な企画書と事前練習をさらに裏切るドッキリを含め、日本のテレビで親しまれてきたエンターテインメントを紹介しつつ、楽しめる企画を創ってきました。

今年は大会長の堀之内先生をサポートしたい委員が集まり、この宴会のためだけに足を運んでくれた誇らしいメンバーが4人もいて、堀之内家や中神先生のゲスト動画出演など、総勢13人で宴会を企画・運営しました。スカイプ打ち合わせや直前まで続いた変更のメールの嵐、そして、筋書きにないドッキリの数々、直前の控室でのきゃびきゃび感、どれをとっても今後決して色あせることの無い、貴重な経験でした。最後に、Sartorius先生からいただいたメッセージはまさかの「This is CADP!」でした☆

みなさまの記憶に何が残るのかはさておき、私がCADPで最も重要であると考えていることは「関係性」です。人間を機能だけでみることなく、その人の存在を心から尊敬・尊重できる関係性です。この関係性は今後さまざまな形で、さまざまなものを生み出すことでしょう♡このお楽しみ宴会がそんな関係性をつなぐお手伝いできれば幸いです(^.^)。

Our
Hope

The CADP Lecture

増田史

CADPの講演は運営委員が参加者目線で自ら講師の先生方に連絡を取り、熱烈に依頼をするところから始まります。16th CADPでは、JYPO卒業生の4名の先生方よりご講演を賜りました。慶應義塾大学の中川敦夫先生からは、うつ病に関する世界で最も有名な研究の一つ(MANGA study)が5th CADPを発端として行われたということを知り、「私たちもここから何か産み出せるかも!」とおおいに激励されました。“キャリアのつくりかた”と題されたセッションでは、3名の先生方から、それぞれのリアルな人生経験に基づいたお話をいただきました。慶應義塾大学の藤澤大介先生は、過去の偉業を達成したプロセスを「わらしべ長者」になぞらえ、様々な局面で自分を助けてくれる友人の重要性について強調されました。横浜市立大学の青山久美先生からは、依存症分野から児童思春期分野への移行という独特の臨床キャリアについてのお話を聞き、「CADPでは新しい視点を手に入れられる」と、参加者に熱いメッセージもいただきました。最後に東京大学の杉浦寛奈先生より、国際精神保健の発展に寄与した軌跡についてのお話があり、先輩が世界で活躍する姿を垣間見ることができました。若手の精神科医にとっては、今後のキャリアについて改めて考え、仲間との関係づくりや将来の国際的な活躍についてのモチベーションを刺激される、日常業務では経験し得ない貴重な機会となりました。次は、あなたが刺激を受けてみませんか？



The Next CADP

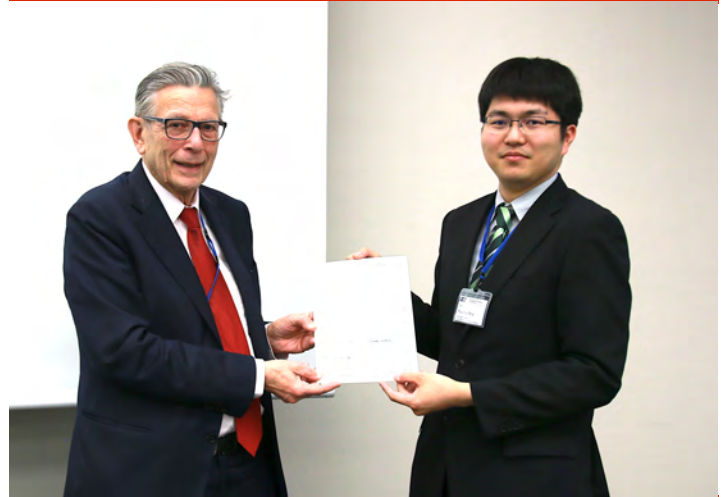
大矢希

おかげさまで17回目を迎えることとなる次回のCADPは、2018年2月22日（木）午後～2月24日（土）に、クロスウェーブ幕張（千葉県）で開催します。全国津々浦々・海外から参集する熱意あふれた若手精神科医とともに、新たな知見と経験を得て、研鑽と交流を深める3日間を過ごしてみませんか？

CADPのプログラムは、Sartorius先生の提案や助言をもとに、参加者の皆さまからいただいた意見も参考にしながら、コンテンツ・運営方法の改良を重ねながら今日まで継続しています。運営委員一同、例年以上に内容のブラッシュアップに努め、皆さま方のご参加をお待ち申し上げております。

参加者募集は8月末頃より開始です。募集要項は、JYPOホームページ、および全国医学部の精神医学教室・主要精神科病院へ送付し、お知らせさせていただきます。初回参加時のみならず、複数回参加した際にも多くの発見と驚きを得られ、今後の自身のキャリア形成や人生設計に思わぬ影響をもたらしてくれることでしょう。

皆さまのご応募、心よりお待ちしております。



Our Future

JYPOについて詳しくお知りになりたい方

➔<http://www.jypo.org>

JYPO事務局への連絡はこちら

➔jypo@mecenat-net.co.jp